

## 旧中野刑務所正門の基本計画・保存活用計画の策定にかかる進捗状況について

旧中野刑務所正門（区指定有形文化財：旧豊多摩監獄表門）の曳家・保存における基本計画と保存活用計画の策定にかかる進捗状況について、下記のとおり報告する。

### 記

#### 1 概要

基本計画では、曳家・保存の前提となる、建物構造、地盤等の諸条件及びその他必要となる事項について、検討を行う。

保存活用計画では、基本計画の検討に基づき、学識者から意見聴取を行い、保存管理や環境保全、防災、活用方法等について、検討を行う。

#### 2 基本計画の項目と内容

##### (1) 基本計画の策定にかかる条件整理

- ①全体工程
- ②保存に必要な措置と修復基本方針の策定
- ③耐震診断の実施

「煉瓦造建築物の耐震診断基準（改訂第2版）一般社団法人 北海道建築技術協会」に基づき、耐震診断を実施した。

##### (2) 構造検討にかかる各種試験

###### ①煉瓦コア各種試験

煉瓦単体の圧縮強度試験、目地材の引張強度試験、目地材のせん断強度試験、煉瓦単体の吸水率の測定を行った。

###### ②壁体表面の目視・打診調査

煉瓦躯体のひび割れ状況について調査を行った。

###### ③鉄筋探査

煉瓦躯体内部の鉄筋等鋼材の有無を、電磁波レーダーにより探査した。

###### ④地盤調査

今後の設計、施工に必要な地盤の構成、各種特性を把握するため、正門現存地、曳家予定ライン、移築予定地において、機械ボーリング、サウンディング試験並びに室内土質試験を実施した。

##### (3) 部分解体工事及び解体調査

文化財の価値を損なわない範囲で、復原のための基礎資料を収集するため、屋根や守衛室東面及び部屋西面の内部仕上、土間部分の一部解体を行った。調査終了後、現状復旧をしている。

##### (4) 後藤慶二史料の調査・関係者ヒアリング

東京工業大学所蔵の後藤慶二史料や、日本の行刑制度における旧中野刑務所の位置づけ、豊多摩監獄から中野刑務所に至る歴史について調査し、学識者等からヒアリングを行った。

### 3 基本計画の検討における各種調査結果の概要

項目	結果
(1) 耐震診断	<p>面内方向は壁量が多く、比較的良好な結果となっており、地震の震動または衝撃により倒壊し、または崩壊する危険性は低いと判断される。</p> <p>一方、面外方向は建物上部に臥梁や床スラブがないことから、独立壁に近い形状となっており、耐震性が低い結果が出ている。</p> <p>以上により、補強計画時において、建物の一体性を確保するとともに、面外補強を行う必要がある。</p>
(2) 煉瓦コア抜き取り調査	<p>室内側から径10×長さ35cmを3本、径20×長さ35cmの煉瓦コアを6本抜き取り、各種強度を測定。同時代の煉瓦と比較して、焼成密度は高く、吸水率は低いことが判明した。抜き取り穴観察では目地仕上げは良好である。</p>
(3) 躯体劣化調査	<p>内部一部解体調査と外部観察から壁面レンガ各所に縦方向のひび割れが認められ、充填材の注入、周辺目地補強、破損が激しい煉瓦の新規置き換えが必要となる。</p>
(4) 鉄筋探査	<p>電磁波レーダーによる探査で、煉瓦躯体内部には鉄筋などの鋼材は確認されなかった。</p>
(5) 部分解体調査	<p>屋根部分は、創建期の天然スレート葺から瓦棒葺青色鋼板へ、また昭和55年改修のグレー系のカラー鋼板の変遷が認められた。</p> <p>また、土間部分の試掘調査の結果、中央通路の南及び北側の地下に基礎がないことが判明した。</p>
(6) 地盤調査	<p>地層は、埋土層以下、関東ローム層、段丘礫層の順に分布しており、現在地・曳家予定ライン・移転先ともに、層厚の多少の違いはあるものの、概ね同じ地層構成となっている。</p>



写真1 外部調査用足場設置の様子



写真2 小屋組調査の様子



写真3 採取した煉瓦コア

#### 4 保存活用計画の項目及び検討状況

保存活用計画では、上記の基本計画の検討に基づき、今後の整備計画を検討する。検討内容は次のとおりとし、「重要文化財（建造物）保存活用標準計画の策定要領」に準拠するものとする。また、策定にあたっては、学識者から意見聴取を行う。

- ①文化財的価値の明示
- ②保存管理計画の策定
- ③環境保全計画の策定
- ④防災計画の策定
- ⑤活用計画の策定
- ⑥事業工程の策定

##### (1) 学識者メンバー

歴史学…大石 学（区文化財保護審議会会長、東京学芸大学名誉教授）  
建築学…内田 青蔵（区文化財保護審議会委員、神奈川大学教授）  
建築学…山崎 鯛介（東京工業大学博物館教授）  
構造学…花里 利一（神奈川大学客員教授、三重大学特任教授）

##### (2) 学識者からの意見聴取（全5回）

- ①第1回（8月4日開催）  
保存・保全にかかる優先度の設定、補修箇所の設定等
- ②第2回（10月8日開催）  
耐震診断結果等に基づく具体的な補強方法について
- ③第3回（12月3日開催）  
移設完了後を想定した保存と活用の具体的方法について
- ④第4回（2月開催予定）  
補強案及び保存と活用の方法について
- ⑤第5回（3月開催予定）  
補足検討及び総括

#### 5 今後の予定

令和4年3月 第1回定例会区民委員会報告  
「旧中野刑務所正門基本計画、保存活用計画の策定について」  
令和4年度～ 旧中野刑務所正門の修復、移築にかかる基本設計・実施設計の着手